

全国高等学校家庭科技術検定

家庭科技術検定について紹介します。

家庭科技術検定は全国組織ですが、今年度、県立鶴岡北高等学校が山形県の事務局を担当します。

種類

被服製作技術検定・食物調理技術検定・保育技術検定の3種類です。

歴史

被服製作技術検定・食物調理技術検定

昭和35年に、高校生の技術力の低下を憂えて全国家庭科教育の先駆者が集まり、技術の定着・評価を考えた結果、創設された。

昭和38年から「文部省後援」、平成7年度から「文部省認定」として実施してきましたが、平成14年度閣議決定により認定試験廃止となり、平成18年度から「文部科学省後援」として実施しています。検定が発足して51年の歴史を刻み、以来受験者は1,868万人を越えています。

保育技術検定

昭和62年厚生省令改正により高等学校の保育科で学んだ生徒の保母試験受験資格が廃止され、これにかわるものとして平成5年に全国高等学校家庭科保育技術検定がスタートしました。平成6年度から「文部科学省後援」となり、保育科だけでなく、普通科・福祉科・商業科・総合学科等の受験者が拡大し急激な伸びもあり、55万人を超えました。

特色・内容

被服製作技術検定・食物調理技術検定

検定4・3級・・・日常の自立に対応した種目・内容

検定2・1級・・・社会に対応できる職業人、スペシャリストを目指す

保育技術検定

検定4・3級・・・高校生に必要な親となるための基礎的な内容

検定2・1級・・・将来の進路に役立つ高度な専門的知識・技術の習得

受験料

被服製作技術検定・食物調理技術検定

1 級	2 級	3 級	4 級
1, 5 0 0 円	1, 2 0 0 円	7 0 0 円	6 0 0 円

保育技術検定

1 級	2 級	3 級	4 級
2, 0 0 0 円	1, 6 0 0 円	1, 2 0 0 円	8 0 0 円
(種目別 5 0 0 円)	(種目別 4 0 0 円)	(種目別 3 0 0 円)	(種目別 2 0 0 円)

平成 2 1 年度 山形県技術検定申し込み状況 (人数)

被服製作技術検定

4 級	3 級	2 級		1 級		合計
4 2 9	1 7 4	和 服	洋 裁	和 服	洋 裁	8 3 6
		6 0	9 3	3 8	4 2	

食物調理技術検定

4 級	3 級	2 級	1 級	合計
2, 3 4 9	8 3 0	2 5 7	1 3 7	3, 5 7 3

平成 2 1 年度 全国高等学校家庭科技術検定研究大会 5 0 周年記念三重大会の作品

被服製作分科会



食物調理分科会

